

令和6年度入学式 学長式辞

春爛漫の時期を迎えました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。駿河台大学教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。ご父母の皆さまにおかれましては、ご子息、ご令嬢のご入学を心よりお祝い申し上げます。また、ご来賓の皆さまにおかれましては、ご多忙の中、ご臨席を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

本学は、「愛情教育」の理念を建学の精神として位置づけ、昭和六十二年に設立されました。以来、その精神に則り「ひとりひとりの学生をありのままにみつめ、ひとりひとりの夢とその歩みを支援し自立を促す教育」を実践し、学生の豊かな人間性の育成を目指しています。

さて、新入生の皆さんは、いよいよこれから大学での勉強が始まります。それぞれの専門分野で優れた業績をあげてきた本学の教員の授業から、学問の魅力や奥深さをぜひ感じとっていただきたいと思います。もっとも、大学の授業は、すぐに解答の出るわかりやすいものばかりではありません。難しい用語や概念などに戸惑い、投げ出しなくなる時もあるかもしれません。それは、私も含めて過去の多くの学生たちが経験してきたことです。しかし、実際の社会で起こる複雑な問題、あるいは人間の生き方や心のあり方など難しい課題に 대응しようとして考え抜かれた学問であれば、当然その理解や学習には時間がかかります。決してあせることはありません。どうか気を長く持って、学問と付き合い、学び続けてください。答えのすぐには見つからない問題を自らの頭で考え、解答を探り出す努力を続けることは、必ず皆さんの将来に生きてきます。

また、本学における学びは、学問のための学問にとどまるものではありません。それぞれの授業では、皆さんがこの先の長い将来にわたって、社会で生き抜いていくための基礎的な能力、すなわち本学で言う「駿大社会人基礎力」を身につけることを目標としています。この「駿大社会人基礎力」とは、社会で役立つ実践的な力に関する具体的内容を示したもので、そこには、コミュニケーション力、チームワーク力、問題解決力など、さまざまな「力」が含まれています。本学では、これらの「力」を培うために、少人数で構成されるゼミ、コミュニケーション力の向上を図るキャリア教育、「地域」を学びの場として位置づけたアウトキャンパス・スタディ、世界の各地にある留学・語学研修など、多様な学びの舞台や仕組みを準備しています。ぜひ、本学が用意した教育プログラムを積極的に活用してください。

さらに、「駿大社会人基礎力」を鍛える場は、授業の中だけではありません。大学生になると、授業時間以外の比較的自由になる時間がたくさんあります。運動部、サークルなどの課外活動や、駿輝祭と言われる学園祭への参加なども、自分を磨き、社会人としての力を身につけるための格好の機会となるでしょう。また、本学に集まるさまざまな国や地方から来た学生たちと付き合うことも貴重な機会です。異なる文化、考え方、生活習慣を持つ人々の意見を尊重し、多様性を認め合いながら一致点を見出し、課題の解決を図ることを学んでください。

なお、大学での学びの内容や新しく始まる生活にさまざまな不安や心配があるかもしれません。何かあったら、けっして一人で悩まず本学の教職員、スタッフに遠慮なく相談してみてください。教職員一同は、皆さんの成長を願い、全力でサポートしていきます。

昔から「よく学びよく遊び」といわれます。大学においても勉強と遊びのバランスのとれた生活が大切です。遊びを通して心に余裕を持つことが、視野を広げ、柔軟な思考を導いてくれることもあります。本学の校歌には「知恵の旅人」という言葉が出てまいります。今日、真理を求めて知恵を磨く旅人となった皆さんが、大いに学び、よく遊び、楽しい実り豊かな学生生活を送られることを願って、ご入学のお祝いの言葉といたします。

本日は、まことにおめでとうございます。

令和6年4月3日
駿河台大学 学長 大森一宏